

呼吸療法サポートチームによる気管切開人工呼吸管理患者 40 例の 人工呼吸器離脱トレーニングの成績

救命救急センターや集中治療室では、生命を脅かす重篤な疾患に人工呼吸管理が行われます。また、呼吸器疾患や心疾患、感染症など様々な病気によって、人工呼吸器が必要になる患者さんは多くいます。人工呼吸器管理が必要となる原因の病気が落ち着いたとしても、人工呼吸器が外れず、3ヶ月から半年、1年2年と長期間に人工呼吸管理でベッド上の生活を余儀なくされる患者さんが多くいます。これは長期間に人工呼吸器に管理された患者さんから人工呼吸器を外していく方法が確立しておりません。

当院では、人工呼吸器を長期間管理される患者さんのケアやマネージメントを呼吸サポートチームがサポートして、診療が行われております。呼吸サポートチームは、人工呼吸器に精通した医師や看護師、臨床工学技師、理学療法士、事務職、歯科医師、歯科衛生士など多岐にわたる職種でチーム編成されています。当院の呼吸サポートチームは、長期間に人工呼吸器に管理された患者さんから人工呼吸器を外していくことを各病棟でサポートしています。人工呼吸器を外していく方法のリスクを最小限に抑え、より効果的な方法を検討するために、明確な適応基準や効果を示す検討が必要であります。今回、呼吸療法サポートチームによる気管切開人工呼吸管理患者 40 例の人工呼吸器離脱トレーニングの成績を検討する研究を計画しています。

2008年11月から2013年3月までの病棟にて当院で気管切開下人工呼吸管理を実施された患者さんの診療情報を収集して解析を行います。この研究では、集計・解析に際して匿名化して情報を取り扱い、対象者の個人情報に厳重に保護しています。上記に該当する方で、この研究についてのご質問や研究協力の拒否を希望される方がございましたら、お手数ですが公立陶生病院 中央リハビリテーション部 呼吸サポートチーム 平澤 純(電話 0561-82-5101)までご連絡いただければ幸いです。

研究協力者:公立陶生病院 中央リハビリテーション部 平澤 純

研究協力者:聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 教授 有蘭信一